

経営比較分析表（平成30年度決算）

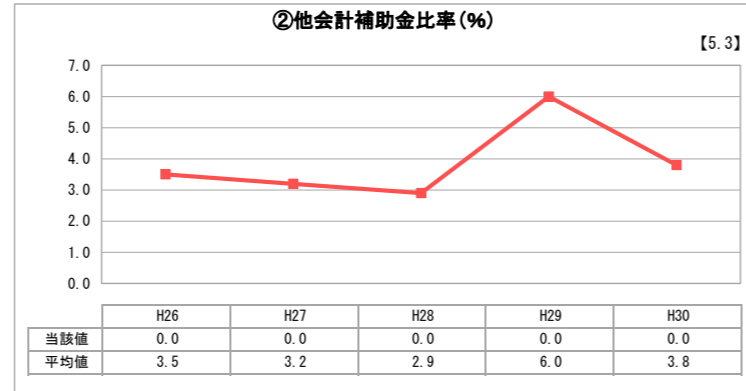
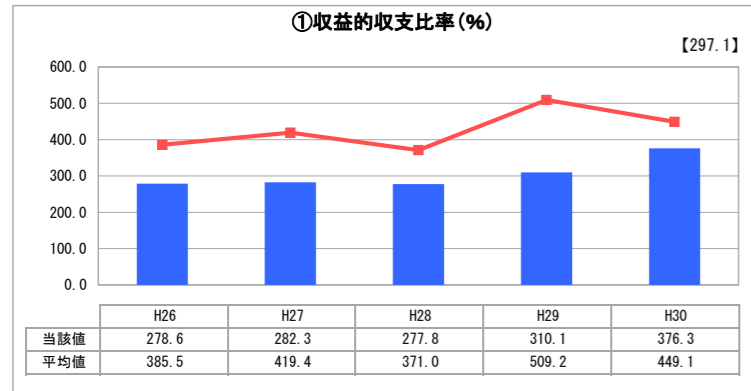
千葉県香取市 佐原駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	42	

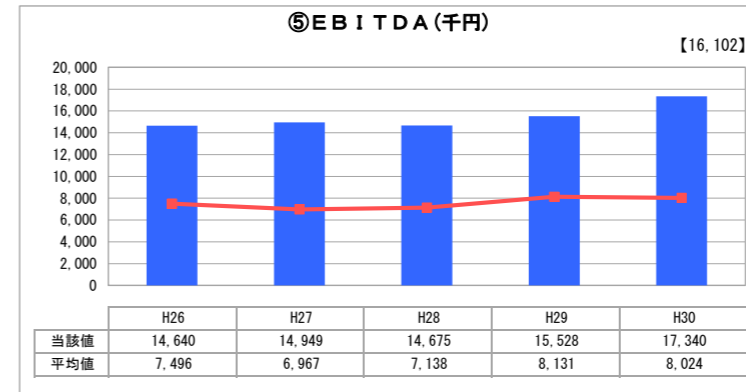
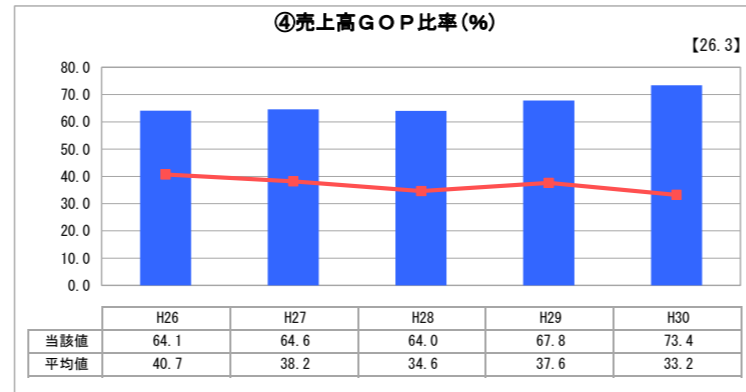
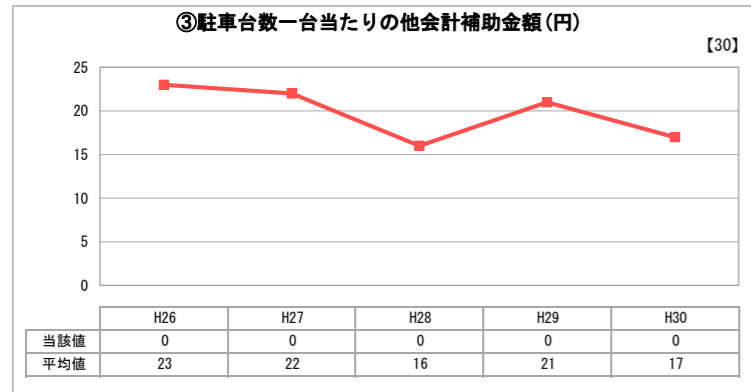
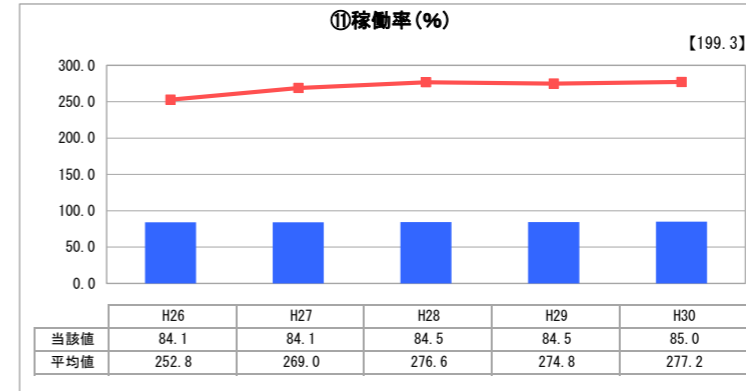
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	5,610
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
220	300	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
【】	平成30年度全国平均

1. 収益等の状況



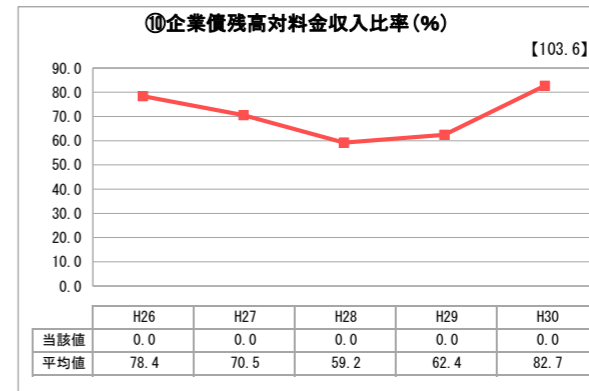
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	220,473
⑧設備投資見込額(千円)	0



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率は、類似施設平均値より低いが300%近くで推移しており、30年度は400%に近づいている。また、指定管理者制度を導入していることにより、営業費用や設備投資を低く抑えることができているため、④売上高GOP比率、EBITDAは類似施設平均値より高くなっており、このことから経営の健全性は確保されていると考える。

2. 資産等の状況について
 現在のところ設備投資は想定していないが、今後施設の老朽化に伴い発生する更新費用については、指定管理者制度を活用し可能な限り低く抑えていく考えである。

3. 利用の状況について
 駐車場の立地上、JRや高速バスの利用者（通勤・旅行・レジャー）が多いため、必然的に1台当たりの駐車時間が長くなり、回転率が低いと考えられ、そのために稼働率8割は適当な水準と考えられる。

全体総括
 ①収益的収支比率及び⑪稼働率は類似施設平均値を下回りやや横ばいの状況ではあるが、⑤EBITDAにおける純利益は類似施設平均値を大幅に上回っており、経営の健全性は十分に確保されていると考えられる。さらなる経営分析を図るため、令和2年度を目標に経営戦略の策定を図りたい。